

# 条件不利地域におけるF T T Hの活用について

島根県地域振興部情報政策課

島根県は、F T T H ( fiber to the home ) の意義を次のように考えています。

- ( 1 ) F T T H は、上り・下りの双方向で十分な通信速度を安定的に確保できるため、  
動画、高精細映像等の大容量データを用いた情報発信  
双方向映像コミュニケーション  
多地点間遠隔会議  
などを行う場合に優れた特性を發揮します。

- ( 2 ) 特に条件不利地域においては、次のようなF T T Hの活用を通じて、特色ある地域づくりやコミュニティビジネス等に取り組む手段となるほか、著しい過疎化・高齢化によって失われつつある地域社会の諸機能を維持・補完する機能や、都市と地方との心理的距離を取り払って、その交流を一層強固にする役割も期待されます。

## F T T Hによる情報発信の活用方法(例)

- ・多様な地域資源(歴史・伝統文化・自然景観・特産物等)の価値を、動画や高精細映像等を交えたデジタルミュージアムによって全国・世界へ情報発信
- ・安全安心な農産物の生産履歴を、生産者自身の映像(例:有機農産物へのこだわりを生産者自らが語る)を添えて情報発信
- ・動物園や水族館等に設置した遠隔操作カメラを用いて、現場では見られない視覚から、動物の生き生きとした表情をリアルタイム映像で配信
- ・田舎暮らしに興味を持つ都市住民や、棚田・森林オーナー制度の登録者等に、四季折々の田園風景や稲・苗木の生育状況等をリアルタイム映像で情報発信
- ・大都市へ就職・就学した地方出身者やU・Iターン希望者に、動画や高精細映像等を交えたホームページによって「ふるさと情報」を発信

## F T T Hによる双方向映像コミュニケーションの活用方法(例)

- ・保健士による巡回健康相談の補完手段として、双方向映像コミュニケーションを用いて独居高齢者等の在宅健康管理に利用
- ・S O H Oの工程管理やプレゼン・納品等に双方向映像コミュニケーションを利用
- ・離島の診療所と中核病院を結ぶ遠隔画像診断システム(例:中核病院の専門医が、脳血管障害や心臓疾患など専門性の高い診断をサポート)
- ・病気のため院内学級ですごす児童が、双方向映像コミュニケーションによって健常児童と一緒に学習課程を履修
- ・市町村合併で遠くなった役場の代替措置として、双方向映像コミュニケーションを用いてインターネット上に行政相談窓口を開設

## F T T Hによる多地点間遠隔会議の活用方法(例)

- ・少人数学級のため刺激が乏しくなりがちな過疎地の児童生徒が、お互いの顔を見ながら一体感を持って勉強できる学校間遠隔同時学習
- ・条件不利地域に居ながら専門的な生涯学習プログラムを受講できる遠隔学習
- ・ケアマネージャ、訪問介護事業者、デイサービスセンター等が、遠隔会議システムを用いてインターネット上で最適なケアプランを調整
- ・条件不利地域に立地した工場・支店等と本社を結ぶ企業内イントラネットを構築

- ( 3 ) さらに上記のような超高速インターネット機能に加え、固定電話の代替性を備えた光I P電話や、放送配信サービス(テレビ難視聴対策)への活用も期待されます。